

# 岡山県介護事業所運営向上ネットワーク

## 外部評価結果表

1、施設名 特別養護老人ホームぬくもりの里あおえ（社会福祉法人天成会）

2、施設の住所 岡山県岡山市北区青江3-10-28

3、施設の状況（平成29年8月31日現在）

(1) 施設の定員 入所 50人 ショートステイ 15人

(2) 介護・看護職員数(常勤換算) 41.1人 :うち正規職員 38人

(3) 介護・看護職員対入所者比率(介護・看護職員1人あたりの入所者数) 1.6人

(4) 介護職員数 36.1人 :うち介護福祉士資格保持者 25.4人

看護職員数 5人

(5) 職員の現職場での勤続年数(正規職員のみ)

・0年以上1年未満 ( 11 人) ・1年以上2年未満 ( 6 人)

・2年以上4年未満 ( 6 人) ・4年以上8年未満 ( 6 人)

・8年以上10年未満 ( 人) ・10年以上 ( 9 人)

(6) 介護・看護職員の平均勤続年数(正規職員のみ)

①介護職員 3.1年 ②看護職員 4.6年

(7) 開設年月日 平成 17年 9月 1日

4、評価機関について

評価機関を実施した評価機関名 岡山県介護事業所運営向上ネットワーク 印

評価機関の住所 (代表) 岡山県瀬戸内市邑久町福中1180

評価調査施設名 せとうち、健老園、さくら木、しおかぜ

評価調査者氏名 安東 しのぶ 印 松岡 幸政 印

小橋 周作 印 榊原 翔(丸山) 印

5、評価実施期間

評価を行った期間 平成28年9月1日 ~ 平成29年8月31日

岡山県介護事業所運営向上ネットワーク 外部評価（実施日平成29年9月25日）

（自己評価平成29年9月14日）

評価項目	評価に用いた小項目	評点
①人権尊重・利用者利益の保護が徹底されていますか	a. 利用者の権利擁護に積極的に取り組んでいますか b. 個人情報・プライバシーを保護していますか c. 抑制や拘束は行わないようにしていますか d. 苦情への対応体制を整えていますか e. 利用者や家族の意見を聞くための取り組みを行っていますか	自己評価  4
評点の理由及びコメント		外部評価
<p>（自己評価での強み）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○成年後見人制度の利用、説明。岡山市介護相談員の受け入れをしている。</li> <li>○個人情報保護方針に従い運営している。</li> <li>○毎月、身体拘束・虐待防止委員会を開催し、やむを得ず拘束が必要な方の状況報告、対応を検討している。</li> <li>○苦情受付マニュアルを作成し体制の整備をしている。</li> <li>○家族会の開催、担当者会議ごとの満足度アンケートを実施している。</li> </ul> <p>（評価者のコメント、課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○身体拘束が1件あったのが0件になったということで、継続してください。</li> <li>○事故、感染、身体拘束等委員会をまとめ、効率的に開催している。苦情委員会も定期的で開催しており、朝礼も各部署が参加し、情報共有に努めている。ただ、情報を認知していない職員もいるとのことなので、共通認識の為の会議後のフィードバックの工夫が必要かと思えます。</li> <li>○家族会において、ユニットリーダーや相談員を交えての食事会をし始めたとのことですが、これからも継続して下さい。その時に施設からの提案もあり、引き続き風通しの良い関係を築いて下さい。</li> <li>○ご家族へのアンケートの回収率が100%ということで、施設との信頼関係が構築できていると思われるので、内容もさらに充実させながら継続して下さい。また、ご家族や職員等へのフィードバックや振り返りも工夫し、利用者のさらなる満足につなげて下さい。</li> </ul>		4

②地域福祉の向上に貢献していますか	a. 地域の関係機関・団体等と必要な連携を行っていますか b. ボランティアの受け入れに配慮していますか c. 施設の機能を地域へ還元するような取り組みを行っていますか d. 情報公開を行っていますか	自己評価  4
評点の理由及びコメント		外部評価
<p>（自己評価での強み）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○他事業所と共催で地域の方を対象に、PT、OTによる体操教室「いきいき体操教室」を毎月2回開催している。</li> <li>○定期的に介護・医療連携推進会議に参加している。</li> <li>○地域の方を対象に、講師による勉強会と介護に関する悩み相談の場「いきいきカフェ」を3か月に1回開催している。</li> <li>○夏祭りや敬老会、その他定期的に、地域の婦人会、各ボランティア団体、地域の幼稚園児等に参加、披露して頂いている。</li> <li>○一般、学生ボランティアを受け入れ、コミュニケーションや車イス清掃等をして頂いている。</li> <li>○ホームページを開設している。</li> </ul> <p>（評価者のコメント、課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ダンスや皿回し、夏ボラ等のボランティアの受け入れはしっかりされているようです。</li> <li>○地域の病院や他事業所と共同で健康教室を開いて、地域への還元や開かれた施設を目指されているのがうかがえます。教室終了後にアンケートをとり、次につなげサービス向上に努めています。</li> <li>○今後はすでに考えられている地元の方々への施設のホール等の場所の提供等を検討・工夫し、さらなるウィンウィンの関係の構築をお願いします。「困ったときにはぬくもりの里あおえさん」と地域の方に浸透するよう目指して行ってください。</li> </ul>		4

③組織の運営は適切ですか	a. サービス提供の理念を職員が共有していますか b. 施設長は現場のサービスを理解し必要なリーダーシップを発揮していますか c. 職員間でコミュニケーションや自主的な取り組みが促進されるような組織になっていますか d. 職員の満足度を高められるよう配慮していますか	自己評価  3
--------------	--	---------------

評点の理由及びコメント		外部評価
<p>(自己評価での強み)</p> ○基本理念の浸透・共有に向けた取り組みとして、①月1回の全職員出席会議で唱和②理事長・施設長より理念に基づく話をしている。③全スタッフ名札の裏に基本理念が書かれた紙を入れている。 ○毎週部署長ミーティングを行い、各部署の動きや課題を把握し改善に向けて取り組んでいる。 ○年2回賞与支給時に理事長、施設長、上司にて個別面談の場を設けている。 ○朝礼や各種委員会でコミュニケーションの重要性、挨拶の励行を意識させ、自主的な行動を実施できるように促し心掛けています。 ○職員が意見しやすいように、意見箱を設置している。		3
<p>(評価者のコメント、課題)</p> ○部署長ミーティングを開催され情報共有に取り組まれています、議事録を作っていないようです。各部署に各長が伝達していると思いますが、重要な会議なので記録を残した方がいいと思います。 ○意見箱は施設長だけが確認しているようですが、反映に関しての工夫しないと逆に職員の不満につながる可能性もありますので配慮をお願いします。		

④サービスの質の向上の為に仕組みがありますか	a. 適切なサービスが提供できるような職員の配置になっていますか b. サービスの質の向上に向けた計画的な取り組みを行っていますか c. 職員に研修やOJTなど資質向上の機会を確保していますか	自己評価  3
------------------------	--	---------------

評点の理由及びコメント		外部評価
<p>(自己評価での強み)</p> ○年間計画を策定し勉強会を開催している。 ○ラダー制度を設け、個別の段位に応じた研修を行っている。 ○外部の研修を活用し、職員の資質向上の機会を設けている。 ○委員会の他に研究会を開催し、より質の高いサービスの提供を目指している。		4
<p>(評価者のコメント、課題)</p> ○ラダー制度の冊子を見せていただきましたが、細かくきっちりしたものでした。今後はいかにスキルアップにつなげていくかということと職員への周知理解、納得感を高めることをお願いします。 ○入浴、口腔ケア・食事、介護力向上等の委員会には、リーダーも入りメンバーも固定されているようです。知識技術やサービスの向上に努め、全体勉強会でフィードバックもされています。今後は定期的に検証して、効果的かどうかの確認をするのも大切かと思います。		

⑤安心・安全面の管理に関する取り組みを行っていますか	a. 事故発生時の対応や事故防止策に関する検討を行っていますか b. 防災・防犯への対策を行っていますか c. 衛生管理・感染症対策を適切に行っていますか d. 建物設備や備品のメンテナンスを定期的に行っていますか	自己評価 <b>4</b>
評点の理由及びコメント		外部評価 <b>4</b>
<p>(自己評価での強み)</p> <p>a. 1.事故発生時には必ず当該ユニット(部署)で事故検証会を行っている。また、毎月の事故防止委員会において、当該月に発生したヒヤリ・事故について、該当部署の委員が「発生状況、原因、対策など」を発表し、それを委員会内で意見交換を行うとともに、対策事項などは施設全体の周知事項としている。</p> <p>2.施設内全体勉強会でKYTを取り入れて施設全体の意識統一を計るよう取り組んでいる。</p> <p>b. 1.施設内の防災訓練として、①日中想定施設全体(特養/DS)で地震発生後の火災発生への対応訓練、②特養の夜間想定火災発生時の対応訓練、③DSの祝日営業想定地震発生後の火災発生への対応訓練を各年1回実施している。</p> <p>2.施設内全体勉強会では、消防署から防災に係わるDVDを借り、防災意識を高める事に努めている。</p> <p>C. 1.毎月の感染対策委員会で、当該月に気を付けなければならない(流行っている)感染症の予防、注意点等について情報を発信し、施設全体で周知している。</p> <p>2.来館者の受付時に手洗い、うがいの案内及び乾燥期には、マスクの配布を行っている。</p> <p>3.インフルエンザ予防接種は、全職員に接種させている。(費用一部法人負担)</p> <p>4.衛生管理については、テーブルは毎食前後、手すりは日1回アルコール拭きを行っている。また、清掃職員が仕上げの拭き上げの雑巾は、次亜塩素酸水を浸したタオルを使用している。</p> <p>d.定期点検は専門業者へ委託。メンテナンスは、定期的に原則、自主管理しているが危険・高度な技術を要するものは、専門業者へ委託している。</p> <p>(評価者のコメント、課題)</p> <p>○事故検証会の内容をユニットに持ち帰って、現場に反映し活かすようにしている。</p> <p>○感染症において処理キットを用意しており、それを活用し実演することで有事に備えている。</p> <p>○定期的な防災訓練や防災に関わるDVDを活用している。DSの祝日営業の地震訓練で、祝日で事務所の人数が少ない時の対応の準備が課題である。</p> <p>○設備等に関しては、精通している職員がいるので、継続してメンテナンスに活かしてください。</p>		

⑥ケアプランを策定し、実施していますか	a. 利用申込み時や利用時の対応体制が整っていますか b. ケアプランの策定・見直しに関する責任の所在と役割分担が明確ですか c. 利用者一人ひとりにアセスメントに基づいたケアプランを策定していますか d. 利用者一人ひとりについて、ケアプランに基づいたサービスを提供していますか	自己評価 <b>3</b>
評点の理由及びコメント		外部評価 <b>3</b>
<p>(自己評価での強み)</p> <p>○生活相談員他、介護課長または施設長が入居相談、見学に対応できる体制を整えている。</p> <p>○ケアマネが中心となり、各種専門職と相談し入居者に合わせたサービスを提供している。</p> <p>○アセスメントシートからニーズを導きケアプランを策定している。</p> <p>○ケアプランと24Hシートを利用しサービスを提供している。</p> <p>(評価者のコメント、課題)</p> <p>アセスメントは大切なツールです。入居前の生活継続はもちろんですが、認知症入居者のアセスメントが細かに取り込めているかも検証してみても下さりプランへの反映により、良いサービス提供に繋がるようお願いいたします。</p> <p>ケアプランと24Hシートによるケアの連動・実行がこれからもっとスムーズになるよう、各職種協力で充実し定着していくと良いと思います。</p>		

⑦ケアプランの見直し等を行っていますか	a. サービス提供を評価し、状態の変化に応じて随時、見直しを行っていますか b. ケアプランの見直しに際し、利用者や家族の意見を反映していますか	自己評価 4
評点の理由及びコメント		外部評価 4
<p>(自己評価での強み)  ○毎月のモニタリングを各専門領域で行いケアプランが本人に合っているか評価し、総合的にケアマネが判断評価している。必要があれば見直しを行う。  ○担当者会議前にアンケートで意向を伺い、会議にも参加して頂いている。  欠席の場合にも意見を伺いプランに反映している。</p> <p>(評価者のコメント、課題)  事前アンケートを基に、6か月に一度ご家族参加のカンファレンスを行って居られるとの事ですが、参加のご家族も多く、協力頂けることは素晴らしいと思います。  ケアプランの変更の必要な状況に入居者がなられたとき、細かな見直しがプランされ、ケアに反映されるべくスタッフに24Hシートをより浸透させると良いと思います。</p>		

⑧利用者本位の視点でサービスを提供していますか	a. 一人ひとりの生活習慣や嗜好を十分に把握したうえで、それを尊重し、実施できるようにしていますか b. 利用者の生活リズムに合わせた支援をしていますか c. 自己決定を支援していますか d. 利用者のできることに配慮した自立支援をしていますか	自己評価 3
評点の理由及びコメント		外部評価 3
<p>(自己評価での強み)  ○入居前の情報を元に、24時間シートを作成し、可能な限り入居前の生活が継続できるように支援している。  ○アクティビティ等、本人の意向を重視し参加の有無や希望を考慮している。</p> <p>(評価者のコメント、課題)  アセスメントによる初期段階でのケアプランの策定を基に、24Hシートに落とし込み入居前の生活の継続をと考えられて実行されているようですが、24Hシートが使われてあまり期間が経過していないとか。まだまだケアプランとの連動には至っていないのではと思います。  一人ひとりの生活リズムと習慣・嗜好を生かした日常をプラン・実行し、日常の楽しみを提供出来たら良いと思います。  集団でのレクやアクティビティも行事や外出もよくされているようですが、その他の時間・日常も大切に、安らげる楽しめると良いと願います。</p>		

<p>⑨コミュニケーションの方法や手段は適切ですか</p>	<p>a. 利用者への言葉遣いや態度は適切ですか b. 利用者とのコミュニケーションの時間を持っていますか c. 利用者の随時の訴えに適切に対応していますか</p>	<p>自己評価 <b>3</b></p>
<p>評点の理由及びコメント</p>		<p>外部評価 <b>3</b></p>
<p>(自己評価での強み) ○ 接遇委員会が中心となり、言葉使いや所作振る舞い等のマナーブックを作成し、周知徹底を図っている ○ 適切でない職員に対しては、個別に具体例を挙げて指導している。又、一度の指導で終了するのではなく、継続的に指導している。 ○ 24時間シートを利用して、本人の意向に沿ったコミュニケーションが取れるようにしている。 ○ 個々の訴えに対しては、リスクの高さによって優先順位を決めて対応している。</p> <p>(評価者のコメント、課題) マナーブックの作成と接遇委員会での勉強会を、1回/月開催などで浸透させるべく努力をされていますが、ご家族からの接遇に対するケアスタッフ個人名のご指摘に、個別指導を上司が行うなど、せっかくのマナーブックがまだまだ生かされていないのかと感じます。 ユニット型施設では、なかなか利用者との個別コミュニケーションの時間を充分に取れないことが多く、ますますの努力を期待します。</p>		

<p>⑩利用者にとって快適な生活環境作りをしていますか</p>	<p>a. 光・音・温度などが個人に合わせて調節できるようになっていますか b. これまでの家庭での生活が継続できる環境作りをしていますか c. 利用者のプライベートな空間が整備され、尊重されていますか d. 利用者が交流しやすい共有空間を確保していますか e. 家族が訪問しやすいよう支援していますか</p>	<p>自己評価 <b>5</b></p>
<p>評点の理由及びコメント</p>		<p>外部評価 <b>3</b></p>
<p>(自己評価での強み) ○ 居室別にエアコンが設置してあり、湿度計、温度計も設置しており、個々のニーズに沿った居室管理をしている ○ 入居前の生活が継続できるように、アセスメントを実施し、居室作りを実施している。自宅から使い慣れた雑貨を持参し、環境作りをしている。 ○ 全室個室であり、個々のプライベートな空間は確保できている。 ○ 入居者様が、自由に使えるように畳のスペースも作っている。 ○ 家族と自由に、くつろげる様に、コーヒーコーナーを無料で設置している。 ○ 家族のニーズに合わせてるように、面会時間を9:00~21:00 365日確保している。</p> <p>(評価者のコメント、課題) 個室の環境管理は、個人に合わせて細かに行って居られるようです。しかしアセスメントに基づく生活継続の観点としての居室の設えは、個別性・個性があまり感じられないように見受けられました。 またリビングやダイニングは、居心地の良いように工夫されているようですが、セミパブリックでの寛げる空間づくりをされると、ご家族や面会者との和みの場になるのではと考えます。 一階のコーヒーコーナーは無料で楽しめますが、オープンすぎて少し落ち着けないのではと推察します。</p>		

⑪食事（嗜好・おやつ）の支援や口腔ケアは適切ですか	a. 利用者が食事を楽しめるような取り組みを行っていますか b. 利用者の食事が進む工夫を行っていますか c. 利用者が嗜好品・おやつを楽しめる配慮をしていますか d. 口腔ケアを適切に行っていますか e. 栄養ケアマネジメントに関するカンファレンスの実施はどの様に関催されていますか f. 嗜好調査が献立にどの様に反映されていますか g. 非日常的な行事食などは実施されていますか	自己評価  4
---------------------------	---	---------------

<p>評点の理由及びコメント</p> <p>（自己評価での強み）  ○季節感を大切にし、できるだけ旬の食材を使用し、食事で季節を感じられるようにしている。  ○赤ちょうちんの実施（隔月：奇数月）。普段の給食とは違うメニューや雰囲気を楽しんで頂く。アルコールも提供している。  ○毎月、喫茶の日を設け、外部購入したケーキや和菓子を喫茶コーナーで楽しんで頂く。  ○年2回日赤病院のボランティアによりお茶会を催し、お抹茶、和菓子を琴の音色とともに楽しんで頂く。  ○歯科回診・往診により治療、義歯調整などを行っている。  ○毎食後の口腔ケアで口腔内の清潔を維持し、施設勤務の歯科衛生士により適切な口腔ケアができているかチェックしている。  ○月1回、口腔ケア研究会を開催。  ○担当者会議、モニタリングにて3ヶ月毎に栄養ケアマネジメントを見直している。体調の変化、嚥下の良し悪しにより食形態は随時、他職種と連携をとり対応している。  ○年2～3回嗜好調査を実施し、人気のあるもの、食べたいもの、食べにくいもの等を聞き取り、以降の献立に反映できるよう努力している。  ○月1回食事サービス委員会を開催し、給食委託会社も参加してもらい味付け、かたさ、食べやすさなどを評価し、献立に反映できるようにしている。  ○四季折々の行事を献立に反映し（正月、節分、ひな祭り、花見、七夕、クリスマスなど）、特別感が感じられる料理を提供している。  ○入居者の誕生日にお祝い膳をお出ししている。確認できる場合は、事前に食べたいものをお聞きし、可能な限り対応している。</p> <p>（評価者のコメント、課題）  赤ちょうちんや季節にちなんだ行事に合わせ、旬の食材やメニューを事前に聞き取りを利用者から積極的にヒヤリングされており、定期的に食事を楽しめる企画を提供されている事を確認した。  しかし、嗜好調査結果を確認した所、行事食や嗜好については、積極的に実施されて満足されていることについては確認できたが、味付けや盛り付け等に課題が生じていて、どのような形で食事に反映し、改善できているか確認ができない点が課題である。また、委託業者との検討会議でどの月を見ても同じ内容の改善内容が上がっているので、検討会議での改善事項については、施設の管理栄養士の方や委託業者と共同で、利用者にはヒヤリング等の方法で、改善できているかどうか確認する必要があると感じた。</p>		外部評価  3
--	--	---------------

⑫入浴の支援は適切ですか	a. 入浴時のプライバシーに配慮していますか b. 利用者の希望に合わせ、くつろいだ入浴ができるよう支援していますか	自己評価  4
--------------	---	---------------

<p>評点の理由及びコメント</p> <p>（自己評価での強み）  ○着脱時、入浴時はカーテン等使用し、プライバシーの確保をしている。  ○同性介護を希望される方には、対応している。  ○湯の温度や、入浴方法等、出来るだけ本人の意向に沿って、提供している。  ○入浴剤などは、本人の希望に沿っている。</p> <p>（評価者のコメント、課題）  基本的なケア方法や個別で一人ひとりに沿ったケアについて実施していることについて確認できた。  湯の温度や入浴方法については本人に沿って対応している事を確認したが、入浴時間や入浴回数等について、詳細な情報までは確認することが出来なかった。尚、24Hシートがあるので、入浴について、個々の希望をしっかりと確認し、24Hシートの活用を積極的に行っていただきたい。</p>		外部評価  4
---	--	---------------

⑬排泄の支援は適切ですか	a. 排泄時の不安や恥辱心等に配慮していますか b. 利用者の排泄状況を把握し、一人ひとりに応じた援助を行っていますか	自己評価 <b>3</b>
評点の理由及びコメント  （自己評価での強み） ○個室で排泄介護を行っており、排泄バックを利用し、個人のプライバシーに配慮している。 ○トイレも居室で行い、プライバシーの確保が出来ている ○導尿等は、同性介助の希望に沿っている。  （評価者のコメント、課題） 個室での排泄介助を基本とし、おしめ交換時には排泄バックを活用し、個々のプライバシーの配慮に心がけたケアがなされていることを確認した。また、排泄ケアについての基本的なケア方法もマニュアルを策定し、職員教育を通じケア方法の徹底がなされていることが確認できた。		外部評価 <b>4</b>

⑭健康保持への支援は適切ですか	a. 利用者の意向に配慮して、寝たきり予防・離床に向けた取り組みを行っていますか b. 利用者が必要に応じて、機能回復などに向けた援助を受けることができますか c. 利用者の体調の変化に速やかに対応する体制ができていますか	自己評価 <b>4</b>
評点の理由及びコメント  （自己評価での強み） ○基本的には機能訓練指導員による個別リハや生活リハビリの相談や指導を毎月行っている ○嘱託医の回診時には、Nsや各職種が状態を報告し相談しながら、体調に負わせた対策を検討し実行している ○緊急時の対応はマニュアルを作成し研修等で周知徹底している。全体勉強会にAED研修を行っている ○朝礼時に入居者の体調の伝達、申し送りを実施し、意識統一を図っている  （評価者のコメント、課題） 機能訓練計画書にて適切に機能訓練を実施できていることを確認した。 しかし、寝たきり予防・離床に向けた取り組みについて、プログラム内容が画一的で、機能訓練の効果の検証等が適切に行われているかどうかまた、新たな取り組みへの開発等について積極的に取り組み、予防という観点からアプローチして頂きたい。		外部評価 <b>3</b>



⑮その他の生活支援は適切ですか	a. 移動機器の利用や移動介助の方法は適切ですか b. 身だしなみについて利用者の意向や嗜好に配慮していますか c. 利用者のニーズに応じて財産管理の支援を行っていますか d. 夜間、利用者に適切な援助を行っていますか	自己評価 <b>3</b>
評点の理由及びコメント  （自己評価での強み） ○スライディングボードの活用をしている。ボディメカニクスを用いた移乗方法を勉強会で開催している ○24Hシートを活用し、暮らしの継続を意識した介護を行っている ○飲酒、喫煙の希望にも対応している  （評価者のコメント、課題） スライディングボードを活用した教育訓練についても適宜、職員に勉強会を開き、移動介助の方法についても徹底されている事を確認した。 利用者の生活支援を職員全員が把握するツールとして、24Hシートを活用されているが、利用者の意向を踏まえ、適宜、支援の内容が変化することが予想されるが、24Hシートの適宜更新した形跡が見受けられなかったため、支援内容や利用者・家族の意向の変化に伴い、24Hシートを適宜更新し、意味のあるシートとして活用していただきたい。		外部評価 <b>3</b>

⑯個別ケアへの取り組みを行っていますか	a. 個別ケア推進のためのビジョンが職員間で共有されていますか b. 個別ケアを推進するための工夫がありますか c. 地域志向の個別ケアを実践していますか	自己評価 <b>3</b>
評点の理由及びコメント  （自己評価での強み） ○ユニット毎に年間目標を策定し、その目標に対して職員個人の目標を立てている ○施設の強化目標として24Hシートの導入・実践を実行している。委員会の実施。 ○参加自由のアクティビティを毎日実施している。 ○入居者様に担当職員をつけ、なじみの関係づくりに取り組みニーズを引き出しやすくしている。 ○外出企画の推奨、花見の季節行事としての外出。近隣スーパーへの買い物。  （評価者のコメント、課題） (自己評価での強み)の中で、「ユニットごとに年間目標を策定し、その目標に対して、職員個人の目標を立てている。とありますが、いまひとつ理解できませんでした。個別ケアとは、「その人その人に合ったケア」を行うという事です。利用者をよく観察して、その人がどのようにしてもらったら嬉しいか、いわゆる喜怒哀楽のポイントを把握し、それにどう寄り添っていきかが課題になってくると思われます。24Hシートの内容をどう充実させて、その情報をどう共有し、如何に個別ケアに結びつけていくかを明示して頂けたらと思いました。		外部評価 <b>3</b>

①⑦短期入所者への個別対応を行っていますか	a. 短期入所者の生活の継続性に配慮していますか b. 短期入所者の状態把握・個別対応を行っていますか	自己評価 4
評点の理由及びコメント		外部評価 2
<p>(自己評価での強み)</p> <p>○自宅での過ごし方、居室の配置、趣味、嗜好等のアセスメントを詳しく行っている。  ○24時間シートを導入し、スタッフ間で情報を共有しやすくし、統一した個別ケアが行えるようにしている。  ○利用毎に家族との連絡簿を用意しており、家族からのご要望をお聞きし、それに対応したケアの実施している。  ○生活リハに加え、必要性に応じて、OTや介護スタッフにて個別に機能訓練（歩行練習等）を行っている。</p> <p>(評価者のコメント、課題)</p> <p>(自己評価での強み)の中で、「生活リハに加え、必要性に応じて、OTや介護スタッフにて個別に機能訓練(歩行訓練)を行っている。」とあります。ご本人やそのご家族からの要望の中で、「何とか歩ける状態を維持したい」あるいは「昔のように自力歩行できるようになりたい」という意見がとても多かったことから、短期入所者にも歩行訓練を実施しているという事ですが、このことが同業他社と比較して、どう強みになっているのでしょうか。</p> <p>短期入所者の方々のご意見に耳を傾けて、まず問題点を把握することからスタートさせてはいかがでしょうか。そのことが継続に繋がっていくように思われるのですが。</p>		

①⑧認知症のある利用者に対し、適切なケアを行っていますか	a. 認知症のある利用者に対する日常生活の支援は適切ですか b. 認知症のある利用者に対する医療的な対応は適切ですか	自己評価 4
評点の理由及びコメント		外部評価 1
<p>(自己評価での強み)</p> <p>○入居前の生活歴の確認、その後24Hシートを活用し職員が統一した介護が提供できるようにしている  ○自立支援介護の取り組み  ○認知症の外部研修への参加  ○日常生活でいつもと違う変化があれば早期に医療職員に報告相談し、嘱託医に相談連携を取り、治療や必要時専門医へ受診する</p> <p>(評価者のコメント、課題)</p> <p>認知症の外部研修へ参加されたときの成果として、「自立支援介護の取り組み」を取り入れられています。具体的には、一日に「水を1.5ℓ以上飲もう」「食事は1,500kcal以上摂ろう」「可能な限り運動(歩行)しよう」という3点を実施目標に掲げられているようですが、再考の余地があるのではないのでしょうか。他の外部評価者からも同様の意見が出ておりました。</p>		

⑱終末期のケア体制が整っていますか	a. 終末期の対応について本人の意向が尊重されていますか b. 利用者・家族等への終末期の精神的ケアに配慮を行っていますか c. 終末期のケアに必要な職員体制が整っていますか	自己評価 <b>4</b>
評点の理由及びコメント		外部評価 <b>4</b>
<p>(自己評価での強み)</p> <p>○入居時、終末期に看取りの意向があるか確認（同意書）。その後看取りに入った時に看取り介護について承諾書を頂く</p> <p>○日頃から健康状態や尿上について家族と連絡を取っており必要時、嘱託医、看護師、ケアマネ等同席し家族に状態説明を行う。定期的なカンファレンスの実施。</p> <p>○入職時、施設内勉強会での看取りに関する研修</p> <p>(評価者のコメント、課題)</p> <p>終末期のケア体制については、ナースを中心に各専門職が連携をとって、利用者・ご家族への精神的ケアに当たられていますので、特段問題がないように思いました。</p>		

⑳ユニット型特養としての特色がありますか	a. ユニットでの居心地を良くするための工夫はありますか b. ユニット内での馴染みの関係を深めるための工夫や努力はありますか	自己評価 <b>3</b>
評点の理由及びコメント		外部評価 <b>3</b>
<p>(自己評価での強み)</p> <p>○四季折々の。掲示や設えを各ユニット、施設で行っている。</p> <p>○熱帯魚を飼育しており、入居者の癒しになっている。</p> <p>○ユニット単位で日常生活をしており、職員と入居者の仲間意識が高い。</p> <p>○担当職員を各居室に掲示しており、なじみの関係が理解しやすくしている。</p> <p>(評価者のコメント、課題)</p> <p>ユニット型特養の大きな特徴は、「個室のため、プライバシーが確保され、自分らしい生活が尊重される。」という点にあると思います。このことについての配慮が、(自己評価での強み)の中に盛り込まれていないと感じました。</p> <p>プライバシーの確保は、マズローの欲求5段階でいうところの生理的欲求、ならびに安全欲求を満たすために必要不可欠のものであり、ユニットの居心地を左右するポイントになるのではないのでしょうか。プライバシーの確保にどのように注力すべきかを、いま一度考えてもらいたいと思いました。</p> <p>また、なじみの関係を構築するために、各居室の表札の下側部分に担当介護職員名を記載されていますが、担当は1名のみですか、担当介護職員の顔写真もあると良いのではないのでしょうか。さらには、担当職員の変更はできるモノのでしょうか。このあたりも再検討して頂きたいと思いました。</p>		